

『Mind Charging』

第 184 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 1 月 9 日

ダンテ・アリギエーリの名言



From a little spark may burst a flame.

わずかな火花から炎が上がることもある。

この言葉にある『火花』とは、私は人生(日々の生活)の中で訪れる“きっかけ”のことだと受け止めました。例えば、野球の『投打二刀流』で日本のプロ野球でも活躍し、現在はアメリカのメジャーリーグに挑戦中の『大谷翔平選手』が野球を始めたきっかけは、“友達に誘われたから”だそうです。それまでは野球をしていた父や兄とキャッチボール程度はしていたそうですが、練習に参加したことで野球に大きな魅力を感じてリトルリーグに入団したというエピソードを残しています。今や野球の最高峰であるメジャーリーグで『和製ベーブ・ルース』と称されるほどに成長した大谷選手のスタートは本当に日常にありそうな何気ないものだったのだと驚かされました。

次に、炎が上がるという言葉から昨今のネット事情やメディア報道などにある『炎上』という言葉イメージしてしまいましたが、そういったことについても同じことが言えるのではないのでしょうか。良くないことと知りつつも“自分は大丈夫”という過信から人々を失望させることになってしまったというニュースが後を絶ちません。人間の『欲』というものは非常に強いものがあり、そのおかげで大成功も大失敗もします。人間関係においても同じだと思います。『親しき中にも礼儀あり』ということわざがあることは誰もが知っていますが、なぜそのようなことわざが生まれたのかを考えると理解がさらに深まるのではないのでしょうか。

火事は大きくなればなるほど消火が難しくなります。私たち人間が持つ素晴らしい能力を開花させるきっかけは本当に様々な瞬間に出会うことができます。自分の力をどのように伸ばし、どのように有効活用していくのかという『セルフコントロール』が、自身の向上への努力以上に求められます。正智深谷高校での生活を通じてみなさんの進むべき道の発見ができるようアンテナを高めて過ごしていきましょう！(編集委員：入試広報室 鈴木)

ダンテ・アリギエーリ(イタリア語:Dante Alighieri、1265年 - 1321年9月14日)は、イタリア都市国家フィレンツェ出身の詩人、哲学者、政治家。ダンテの代表作は古代ローマの詩人ウェルギリウスと共に地獄(Inferno)、煉獄(Purgatorio)、天国(Paradiso)を旅するテルツァ・リーマで構成される叙事詩『神曲(La Divina Commedia)』であり、他に詩文集『新生(La Vita Nuova)』がある。(Wikipedia 参照)